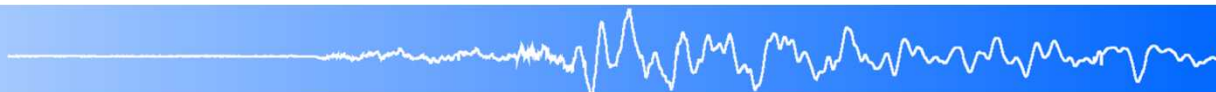


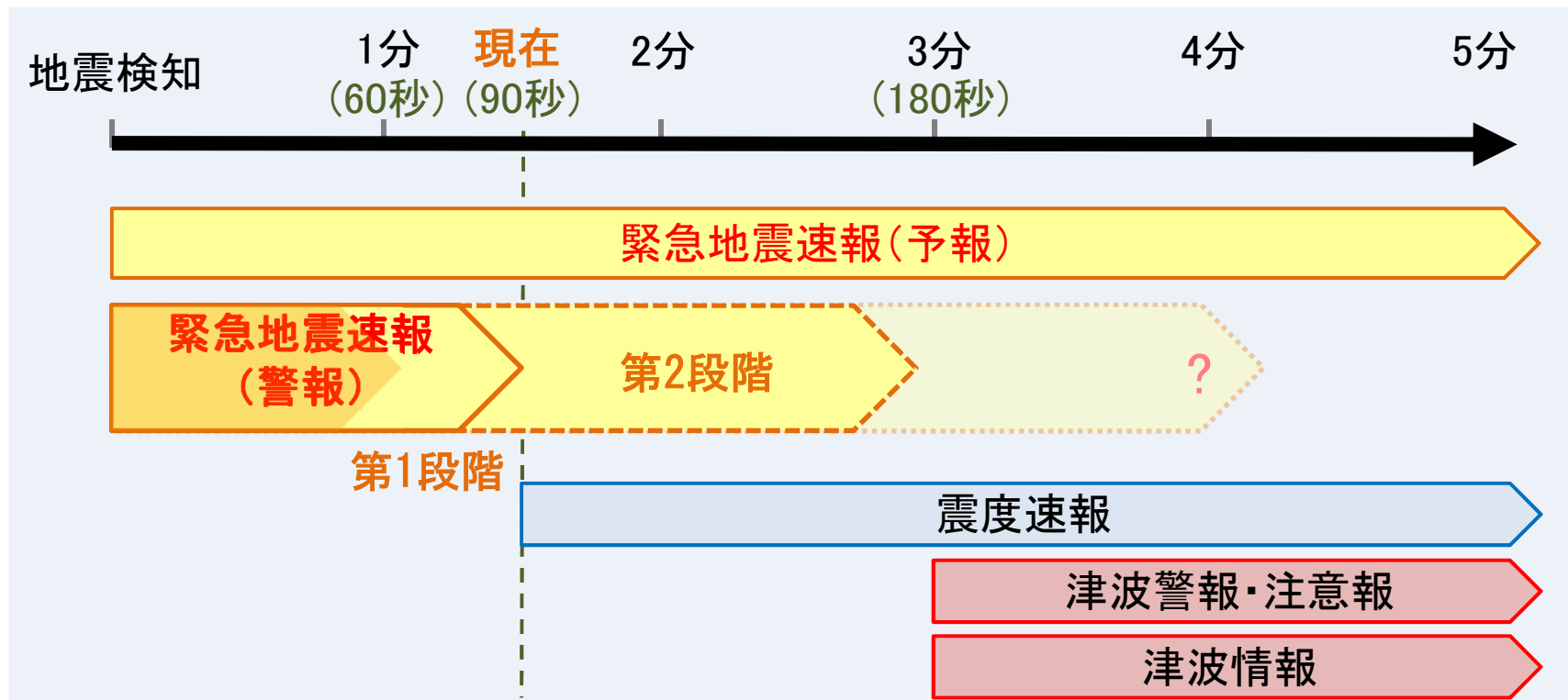
5. 緊急地震速報に関する 今後の取り組みについて

- 緊急地震速報（警報）の発表延長について
- 長周期地震動に関する予測情報の実現に向けた取り組み



(1) 緊急地震速報(警報)の発表延長について

- 第1段階(H30年3月22日～現在)
発表時間を、60秒から震度速報の前(90秒)に延長
緊急地震速報(予報)については最終報まで発表(変更なし)
- 第2段階(H31年6月以降に実施予定)
90秒から180秒に再延長
緊急地震速報(予報)については最終報まで発表(変更なし)



なお、将来的には放送サービスの高度化や放送技術の進展などを踏まえて最終報まで発表できるよう引き続き理解を求めていく。

(2) 長周期地震動に関する予測情報の実現に向けた取り組み ～緊急地震速報(警報)の発表基準に長周期地震動階級を用いることについて～

「長周期地震動に関する情報検討会平成28年度報告書」より、

- (長周期地震動)階級3でも家具類の移動、転倒が発生する可能性があることから、警戒・注意を呼びかける情報を発表する基準は階級3以上が適切だと考えられる。
- (長周期地震動の)予測情報を受けた場合の高層階及び低層建物での対応行動は、いずれも安全な場所で揺れに備えるということであり、違いはない。
←短周期と長周期の地震動で本質的な対応行動に違いはない。
- 警戒の呼びかけが明確であること、確実な伝達ができること、情報の発表回数や種類の増加が抑えられること、システム改修等の受け手の負荷・負担が小さいこと

→「『緊急地震速報(警報)を発表する基準に長周期地震動の予測値を追加』することにより、緊急地震速報(警報)で強い揺れに警戒を促す方法が最も適切と考えられる」

(2)長周期地震動に関する予測情報の実現に向けた取り組み

「長周期地震動に関する情報検討会 多様なニーズに対応する予測情報検討ワーキンググループ」(平成30年度末で終了)の報告書等において、気象庁が以下の事項の実現に向けた取り組みを行うこととされた。

1. **気象庁による国民にあまねく警戒・注意を呼びかける予測情報の実現**
(長周期地震動に関する情報検討会平成28年度報告書)
(長周期地震動に関する情報検討会 多様なニーズに対応する予測情報検討WG報告書)
2. **長周期地震動の情報を広く社会に役立てるため、民間事業者による予測情報を安心して利用することが可能となるような仕組みの構築等の検討**
(長周期地震動に関する情報検討会 多様なニーズに対応する予測情報検討WG報告書)
3. **WGで整理した長周期地震動予測情報の社会実装に向け、今後さらに具体的な検討・検証を進めるための実証実験の拡大・継続**
(長周期地震動に関する情報検討会 多様なニーズに対応する予測情報検討WG報告書)

(2) 長周期地震動に関する予測情報の実現に向けた取り組み

1. 気象庁による国民にあまねく警戒・注意を呼びかける予測情報の実現の準備

長周期地震動に関する情報検討会平成28年度報告書の内容に基づき、気象庁からの情報提供を可能とするために必要な準備を進める。

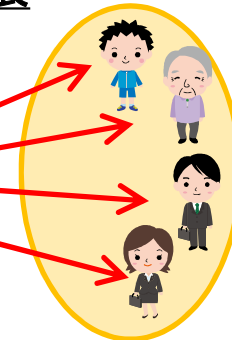


緊急地震速報(警報)

長周期地震動階級3以上が予想される場合にも
緊急地震速報(警報)を発表



報道機関、地方公共団体、
配信事業者等



長周期地震動の予報等
(震源情報・揺れの予想)

個々の高層ビル等の多様なニーズに対応する
予測情報が必要

予報事業者等



建物の高さ、構造、
地盤のデータ等

高所作業者への情報提供

ビルの在館者に対する情報提供

様々な情報提供



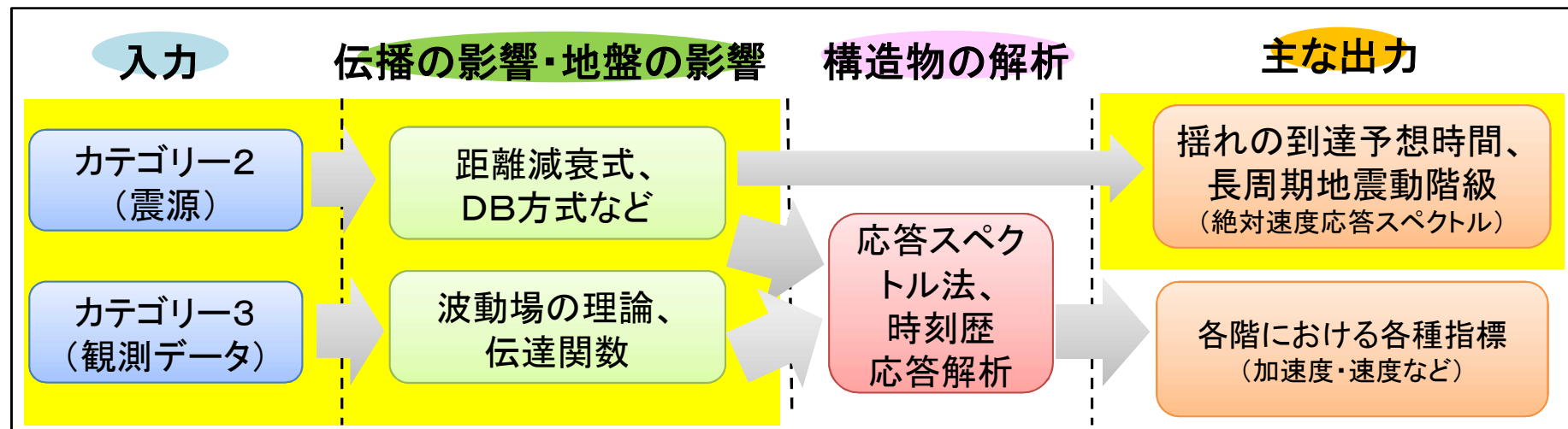
(2) 長周期地震動に関する予測情報の実現に向けた取り組み

2. 民間事業者による予測情報について

民間事業者が提供する予測情報を広く安心して利用することが可能となるよう、緊急地震速報の予報業務許可制度なども参考にしつつ、必要な仕組みの構築等の検討を進める。

多様なニーズに対応する長周期地震動の予測情報の実用化に向け、民間事業者による予測情報を安心して利用することができる仕組みを構築する。緊急地震速報の予報業務許可制度を参考に、今後の実証実験の成果等も踏まえつつ、必要な制度設計を行う。

震源と観測データを入力とし地震動を即時に予測する技術を予報業務許可の対象とする方向で検討している。(黄色網掛け部分)



○カテゴリー1: 気象庁の警報・予報(計画中)

○カテゴリー2: 気象庁の震源をもとにした事業者の予測情報

○カテゴリー3: 気象庁の震源および観測データを用いた事業者の予測情報

(2) 長周期地震動に関する予測情報の実現に向けた取り組み

3. 今後の実証実験について

WGで整理した予測情報の社会実装に向け、
今後さらに具体的な検討・検証を進めるための**実証実験の拡大・継続**

